様式第二号の八（第八条の四の五関係）

高松市
環境指導課
7.5.28
受付

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　7年　5月　28日

都道府県知事
（市長）　高松市長　　殿

提出者
住　所　　香川県高松市円座町1930番地
氏　名　　金本建設株式会社
代表取締役　金本　健司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　087 － 886 － 6625

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	金本建設株式会社
事業場の所在地	香川県高松市円座町1930番地
計画期間	令和　7年　4月　1日　～　令和　8年　3月　31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	￥６６２，４４５，０００-
③従業員数	16名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	１．工事受注後及び工事中において建設廃棄物処理委託契約書を交わす。 ２．工事現場にて、産業廃棄物発生。 ３．工事現場から自社及び収集運搬契約会社が契約処分場まで収集運搬する。 ４．処分契約会社から、マニフェスト（最終処分日の確認印入り）を受け取り終了。

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

① 工事現場　　産業廃棄物発生
↓
② 経理部　　マニフェスト発行
↓
③ 処理会社　　委託契約している処分業者へマニフェストを渡す
↓
④ 経理部　　最終処分の日付、押印のマニフェスト受領後、保管する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　　6　年度）実績】　　＊別紙資料１

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
排　出　量	957.80ｔ	489.00ｔ

（これまでに実施した取組）

事前調査及び計画を立て、工事に入る

② 計画

【目標】　　＊別紙資料３

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
排　出　量	1000ｔ	1000ｔ

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の排出を抑制するため、事前調査及び計画を立て
工事へ入る

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスコンがら、建設汚泥、木くず 管理型
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 再利用できるものは、再生利用業者へ委託

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="2">【前年度（　　6　年度）実績】　　＊別紙資料２</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td>アスコンがら</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>957.80ｔ</td><td>489.00ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>957.80ｔ</td><td>489.00ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

産業廃棄物の一連の処理工程に沿って、実施している</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>② 計画</td><td colspan="3">【目標】　＊別紙資料３</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートがら</td><td>アスコンがら</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1000ｔ</td><td>1000ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1000ｔ</td><td>1000ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

工事受注後、建設廃棄物処理委託契約書を締結する

工事現場にて、産業廃棄物発生
↓
工事現場から、自社及び収集運搬契約会社が契約処分場まで収集運搬する
処分会社から、マニフェスト（最終処分日の確認印入り）を受け取り終了する

上記の工程を実施、管理する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

※別紙

資料１

＊産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和　6年度実績)】			
産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	建設混合廃棄物	
排　出　量	2042.50ｔ	108.94ｔ	6.09ｔ	

資料２

＊産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（令和　6年度実績)】			
産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	建設混合廃棄物	
全処理委託量	2042.50ｔ	108.94ｔ	6.09ｔ	
優良認定処理業者へ処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
再生処理業者へ処理委託量	2042.50ｔ	108.94ｔ	6.09ｔ	
認定熱回収業者へ処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
認定熱回収業者以外熱回収を行う業者へ処理委託量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

資料３

＊産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【令和　7年度　計画】			
産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	建設混合廃棄物	
排　出　量	20.00ｔ	30.00ｔ	20.00ｔ	

資料４

＊産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【令和　7年度　計画】			
産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず	建設混合廃棄物	
全処理委託量	20.00ｔ	30.00ｔ	20.00ｔ	
優良認定処理業者へ 処 理 委 託 量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
再生処理業者へ 処 理 委 託 量	20.00ｔ	30.00ｔ	20.00ｔ	
認定熱回収業者へ 処 理 委 託 量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
認定熱回収業者以外 熱回収を行う業者へ 処 理 委 託 量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	